

「めざせ！食品ロス・ゼロ」川柳コンテスト 受賞作品概要

別紙

名前	都道府県名	川柳作品	作品の説明（応募内容から転記）
内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）賞			
みやは ゆうな 三宅 佑奈	岐阜県	ままごとも 導入された てまえどり	子どもはママをよく見えています。
消費者庁長官賞			
しもむら ゆう 下村 優羽	広島県	食べたあと 光るお皿に 笑み溢れ	ご飯を食べた後残さず食べて綺麗になったお皿に、料理を食べた人も、料理を作った人も、食材を作った人も、ゴミを燃やすのにかかるコストの計算をしている人も、そして地球も笑顔になるし、ゴミを燃やすのにかかるコストが減り、地球の環境も良くなり、周りまわって笑顔がループしてたくさんの人に溢れていく様子を想像しました。
あおやぎ ふみこ 青柳 婦美子	栃木県	完食の ごちそうさまは よく響き	残さず食べると気持ちよく、ごちそうさまの声が弾む様子を表しました。作り手も地球も喜ぶ完食を続けていきたいものです。
審査委員賞			
すずき とちみ 鈴木 智美	神奈川県	今日食べる それならLet' s 手前取り	一人一人が商品を購入する段階から、食品ロスについて考え、行動する事が大切だと思い詠みました。
よしまつ やまと 吉松 大和	静岡県	ゴミ袋 カラスもビックリ 食べ残し	ゴミ袋の中の食べ残しを食べに来たカラス、食べ残しの多さにカラスもビックリ。
おぬま ちあき 小沼 千秋	茨城県	冷蔵庫 丸ごと使って さあお鍋	寒くなってくると我が家では週末に必ずお鍋をします。味は家族みんなのリクエストで決めますが、使う具材はあれこれ買ってくるのではなく、冷蔵庫に残っている具材を上手に組み合わせて、なるべくリーズナブルにしています。ちょっと変わった鍋にも変化して楽しいですよ。これからの季節、家族みんなで鍋を突つくのが楽しみです。
やすなが まさみち 安永 正道	千葉県	食べ残し 罪の意識に 苛まれ	昔人間は食べ物を残すことに罪悪感があった。食品ロスなんて言葉も無かった。